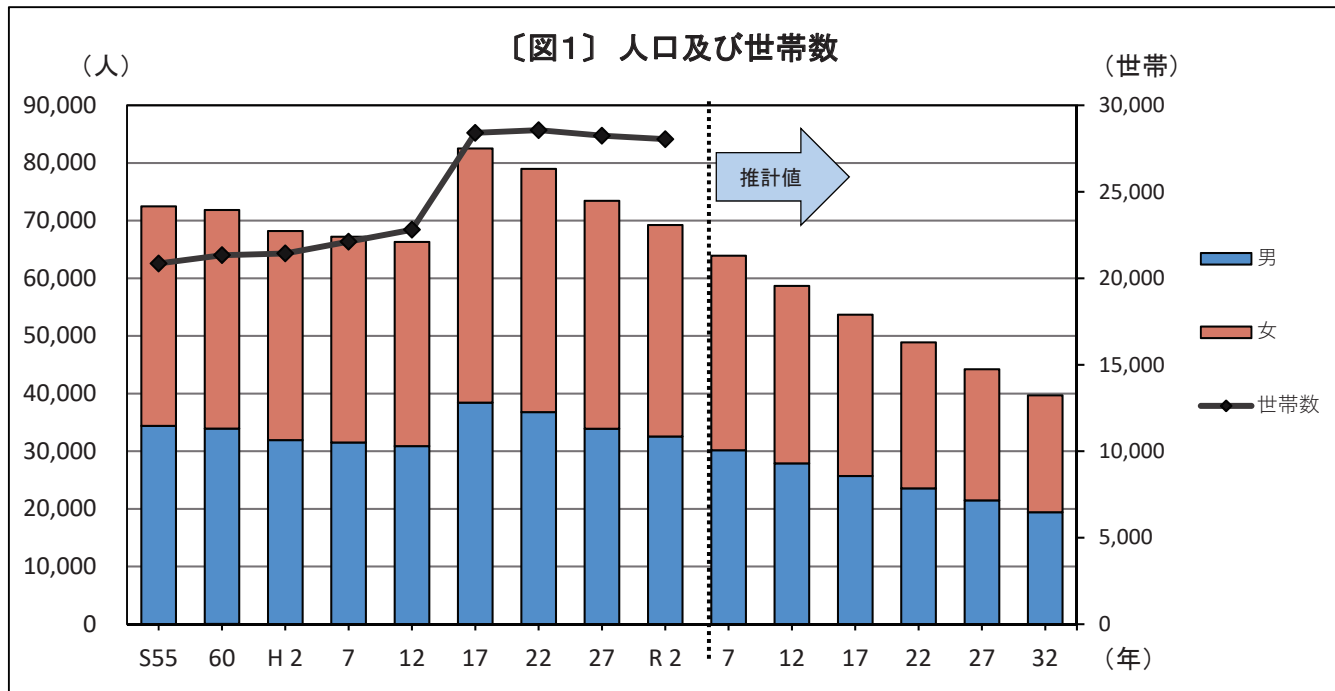


第3章 統計でみる市の状況

1. 人口と世帯

(1) 人口及び世帯数の推移

昭和55年以降人口は減少し、平成17年の合併後も減少は続いています。今後、推計によると令和32年には令和2年と比べ約43%の人口減となることが予想されます。



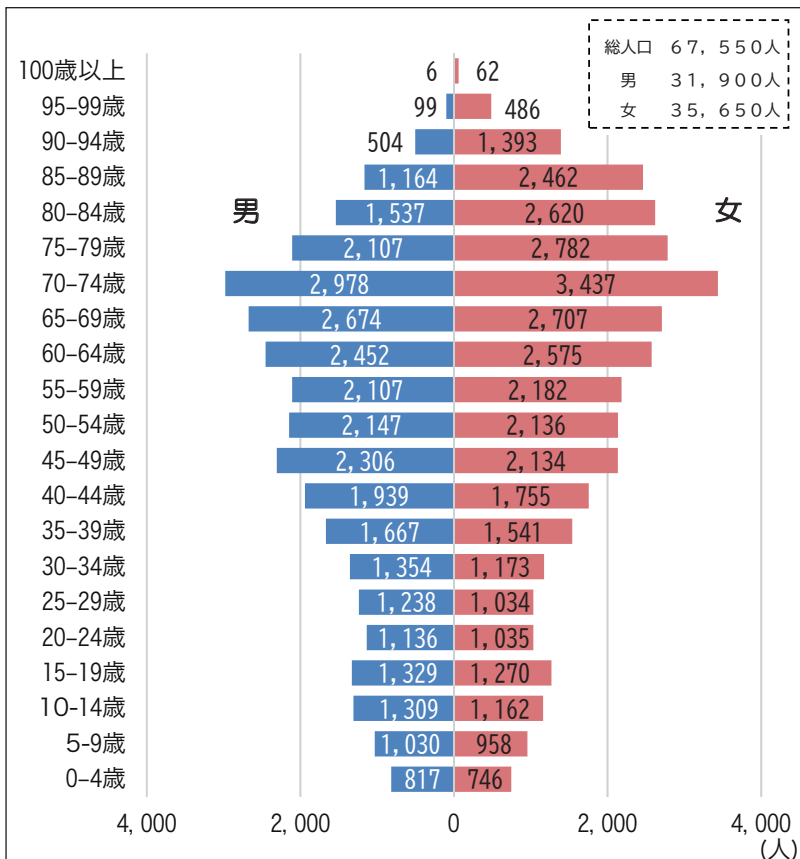
〔表1〕 人口・世帯数

年	人口 (人)			世帯数 (世帯)
	総数	男	女	
S 55	72,478	34,392	38,086	20,857
60	71,794	33,859	37,935	21,335
H 2	68,195	31,920	36,275	21,436
7	67,214	31,522	35,692	22,119
12	66,293	30,879	35,414	22,808
17	82,504	38,413	44,091	28,406
22	78,946	36,762	42,184	28,565
27	74,175	34,633	39,542	28,242
R 2	69,237	32,551	36,686	28,044
7	63,908	30,174	33,734	
12	58,675	27,882	30,793	
17	53,661	25,688	27,973	
22	48,851	23,544	25,307	
27	44,182	21,447	22,735	
32	39,696	19,423	20,273	

資料:国勢調査(平成17年以降は合併後の数)

令和7年以降は日本の地区別将来推計人口(R5年推計)

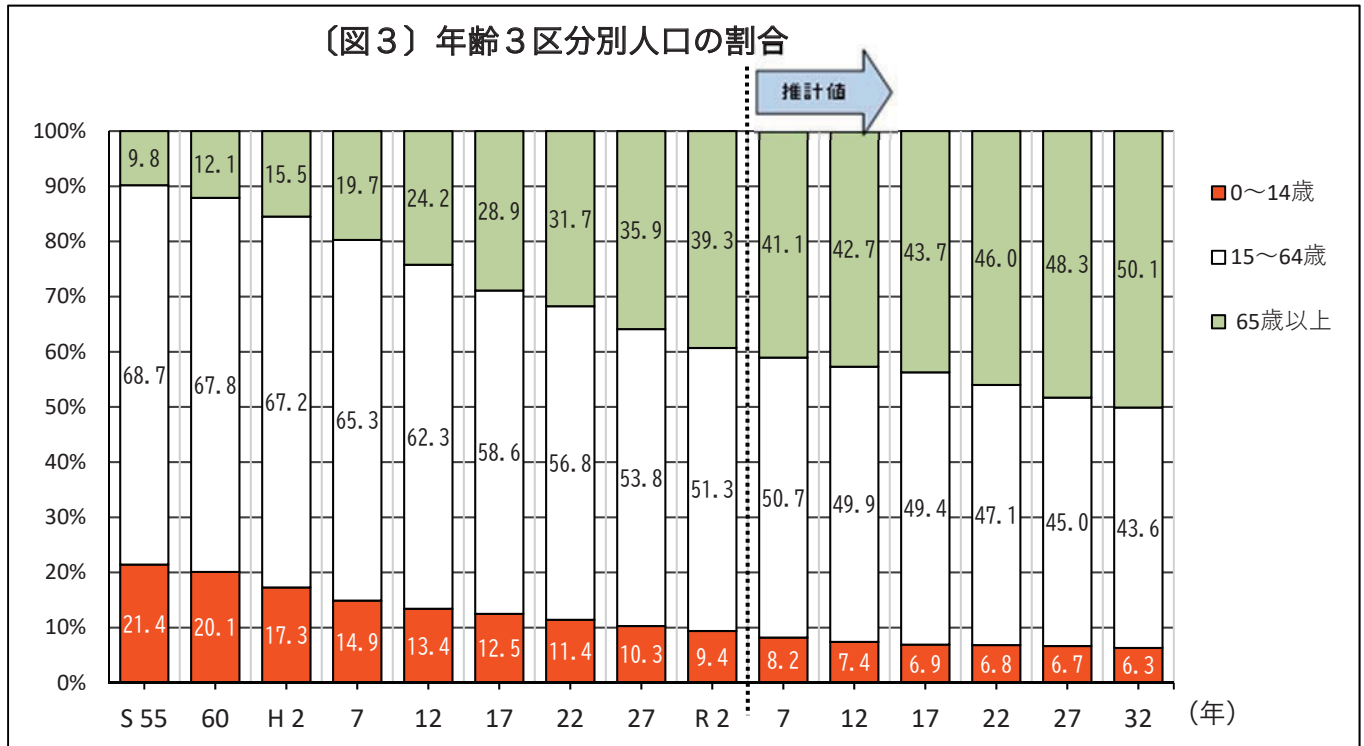
〔図2〕 年齢(5歳階級)別人口



資料:市民課住民基本台帳 令和5年3月末現在

(2) 年齢3区分別人口の割合の推移

少子高齢化が進み、令和2年には15～64歳の生産年齢人口の割合が51.3%でしたが、令和32年には43.6%と全人口の4割程度となり、0～14歳の年少人口は令和2年で9.4%が、令和32年には6.3%になると推計されます。



資料：国勢調査（平成17年以降は合併後の数）、令和7年以降は日本の地区別将来推計人口（R5年推計）
（年齢不詳を除く）

〔表2〕 総人口・年齢3区分別人口・世帯数

年	人口（人）	年齢3区分別人口（人）			年齢不詳	75歳以上（再掲）	世帯数（世帯）
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
S 55	72,478	15,535	49,807	7,128	8	2,295	20,857
60	71,794	14,416	48,711	8,662	5	2,978	21,335
H 2	68,195	11,796	45,799	10,573	27	3,908	21,436
7	67,214	10,047	43,908	13,259	0	4,922	22,119
12	66,293	8,897	41,322	16,032	42	6,306	22,808
17	82,504	10,316	48,314	23,816	58	11,076	28,406
22	78,946	9,026	44,842	25,017	61	13,458	28,565
27	74,175	7,647	39,755	26,549	224	14,670	28,242
R 2	69,237	6,479	35,272	26,998	488	14,851	28,044
7	63,908	5,250	32,423	26,235		15,705	
12	58,675	4,355	29,267	25,053		15,851	
17	53,661	3,716	26,482	23,463		15,189	
22	48,851	3,344	23,031	22,476		14,377	
27	44,182	2,949	19,896	21,337		13,236	
32	39,696	2,512	17,292	19,892		12,742	

資料：国勢調査（平成17年以降は合併後の数）、令和7年以降は日本の地区別将来推計人口（R5年推計）

2. 出生と死亡

(1) 出生数と出生率の推移

出生数は年々減少しています。令和3年出生率は、人口千対4.5で県より0.1低く、全国に比べると2.1低い状況です。

〔表3〕 出生数と出生率

出生数(人) 出生率(人口千対)

年		S62	H4	9	14	17 (市町合併)	22	27	28	29	30	R元	2	3
出生数 大館市		670	618	572	499	594	470	429	391	398	340	351	319	304
出生率	大館市	9.6	9.2	8.5	7.6	7.2	6.0	5.8	5.3	5.5	4.8	5.0	4.6	4.5
	秋田県	10.3	8.8	8.0	7.2	6.7	6.2	5.7	5.6	5.4	5.2	4.9	4.7	4.6
	全国	11.1	9.8	9.5	9.2	8.4	8.5	8.0	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6

資料:秋田県衛生統計年鑑 昭和62年～令和3年

(2) 死亡数と死亡率の推移

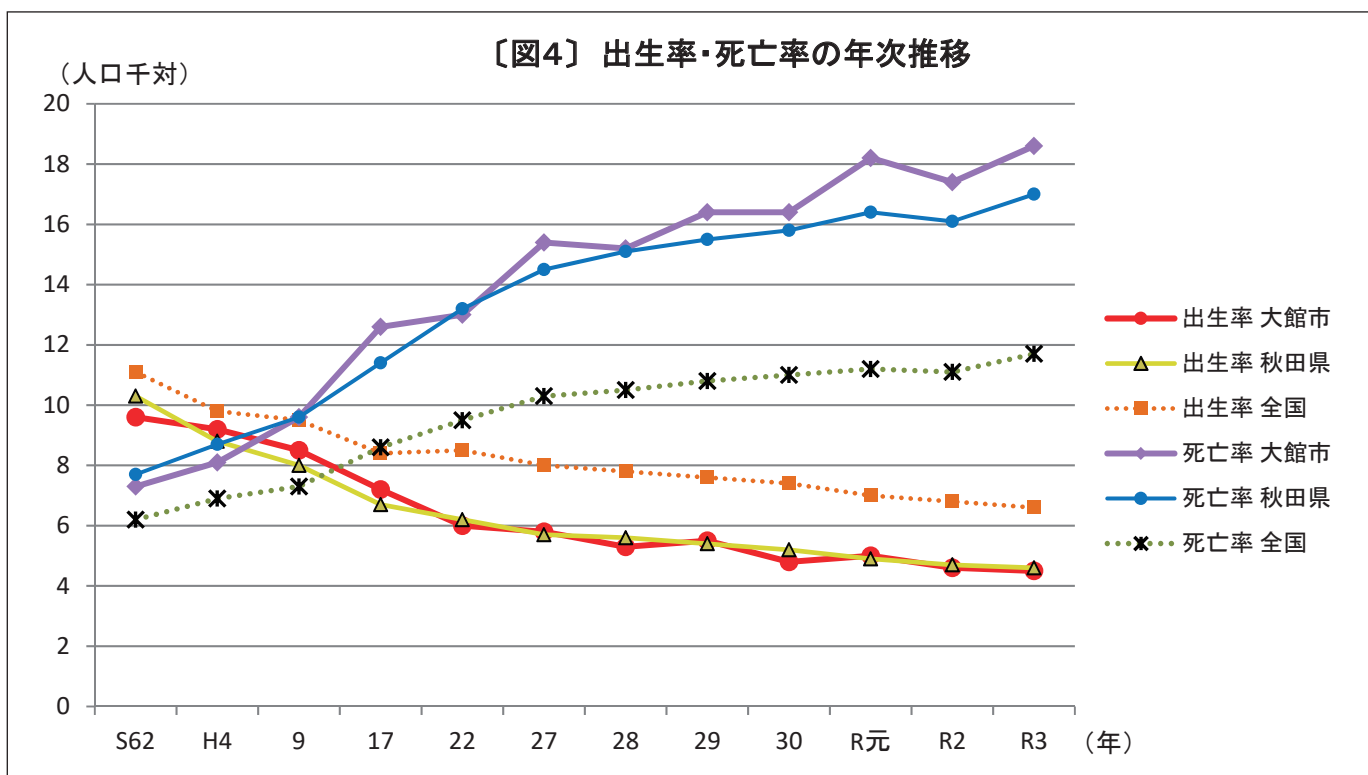
令和3年死亡率は、人口千対18.6で県より1.6高く、全国に比べると6.9高い状況です。

〔表4〕 死亡数と死亡率

死亡数(人) 死亡率(人口千対)

年		S62	H4	9	14	17 (市町合併)	22	27	28	29	30	R元	2	3
死亡数 大館市		514	547	642	728	1,038	1,028	1,146	1,111	1,181	1,167	1,279	1,204	1,266
死亡率	大館市	7.3	8.1	9.6	11.1	12.6	13.0	15.4	15.2	16.4	16.4	18.2	17.4	18.6
	秋田県	7.7	8.7	9.6	10.4	11.4	13.2	14.5	15.1	15.5	15.8	16.4	16.1	17.0
	全国	6.2	6.9	7.3	7.8	8.6	9.5	10.3	10.5	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7

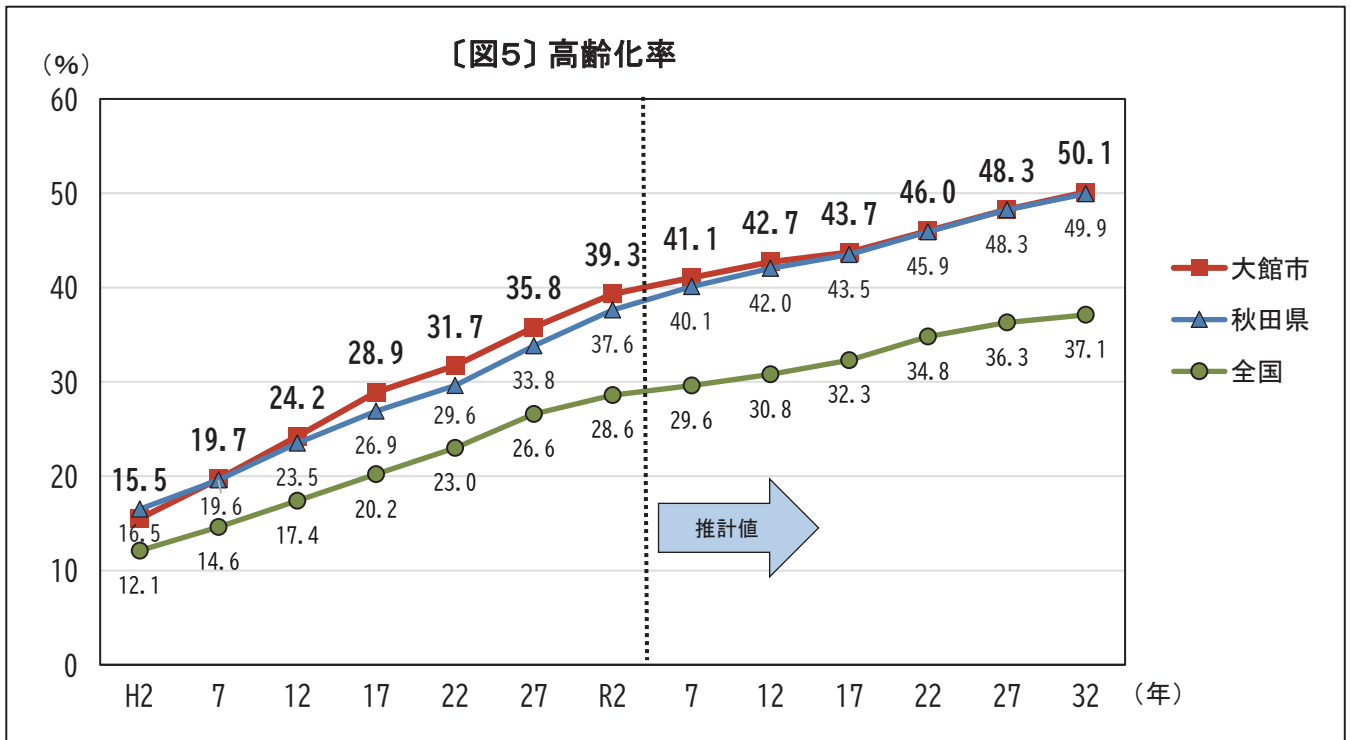
資料:秋田県衛生統計年鑑 昭和62年～令和3年



3. 高齢者

(1) 高齢化率の推移

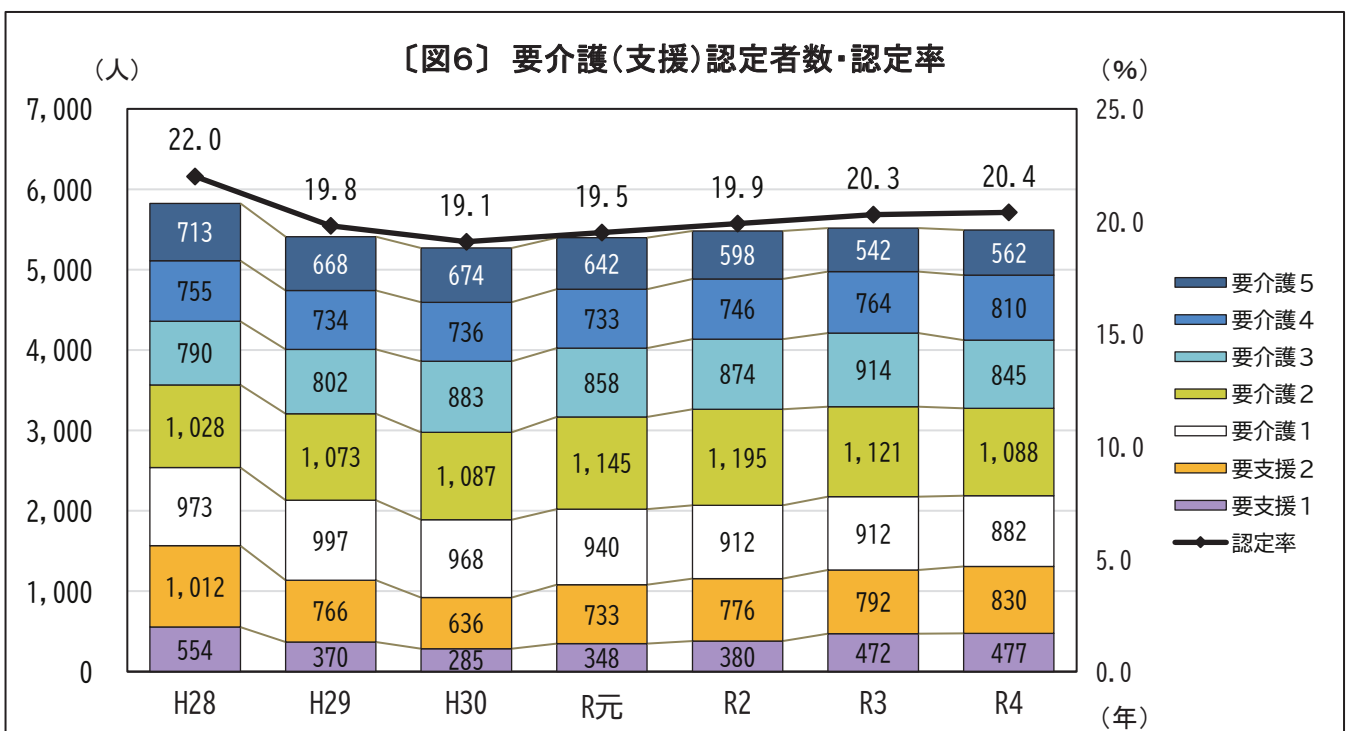
市の高齢化率（65歳以上の人口割合）は、年々高くなり令和2年に39.3%で、県より高い状況です。推計によると令和32年には50.1%と5割を超えることが予想されています。



資料：国勢調査（平成17年以降は合併後の数）、令和7年以降は日本の地区別将来推計人口（R5年推計）

(2) 要介護（支援）認定者数・認定率の推移

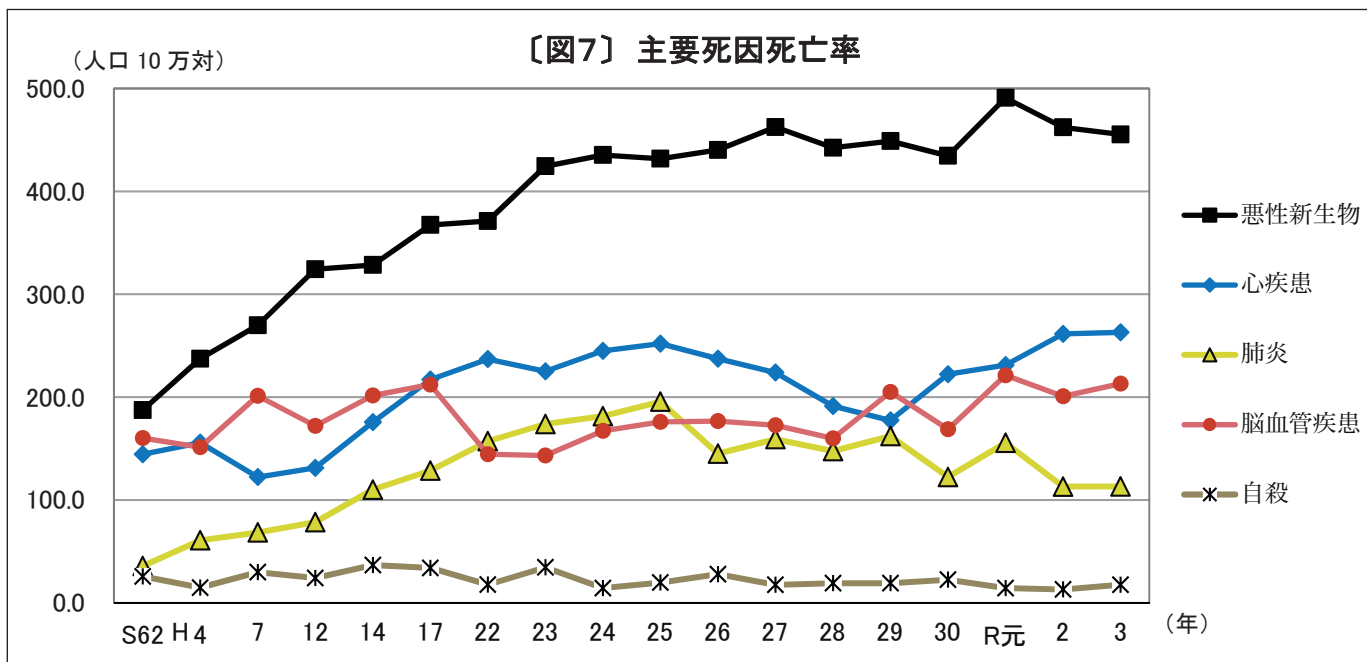
市の認定者率（65歳以上の高齢者人口に対する認定者の割合）は、平成28年から20%前後の横ばいで推移しています。



4. 死因

(1) 死因別死亡率の推移

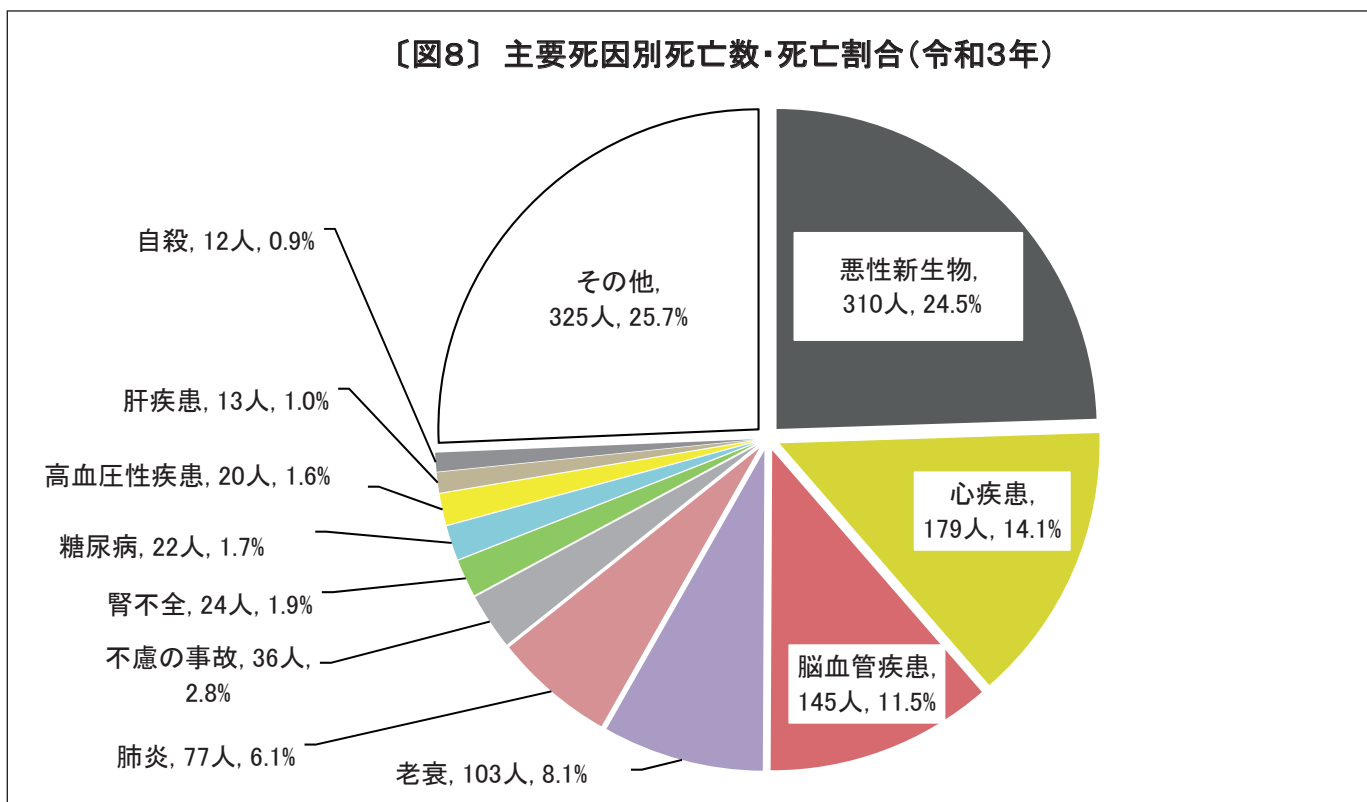
市の死因の第1位は悪性新生物です。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっています。



資料：秋田県衛生統計年鑑

(2) 主要死因別死亡数・死亡割合

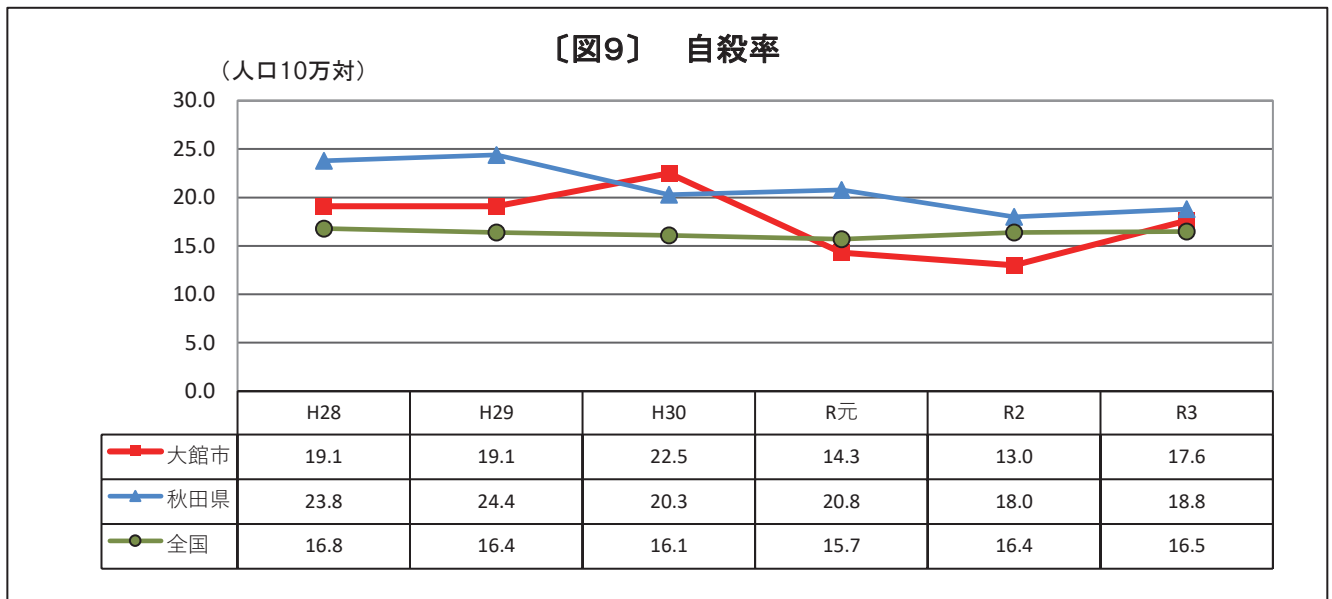
市の令和3年の全死亡数1,266人のうち、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3つの疾患で半数を占めています。



資料：秋田県衛生統計年鑑

(3) 自殺者数及び自殺率の推移

市の自殺率は、平成30年以降減少傾向にあり、令和元年、令和2年と全国平均を下回りましたが、令和3年に再び上昇しています。



〔表5〕 自殺者数

(人)

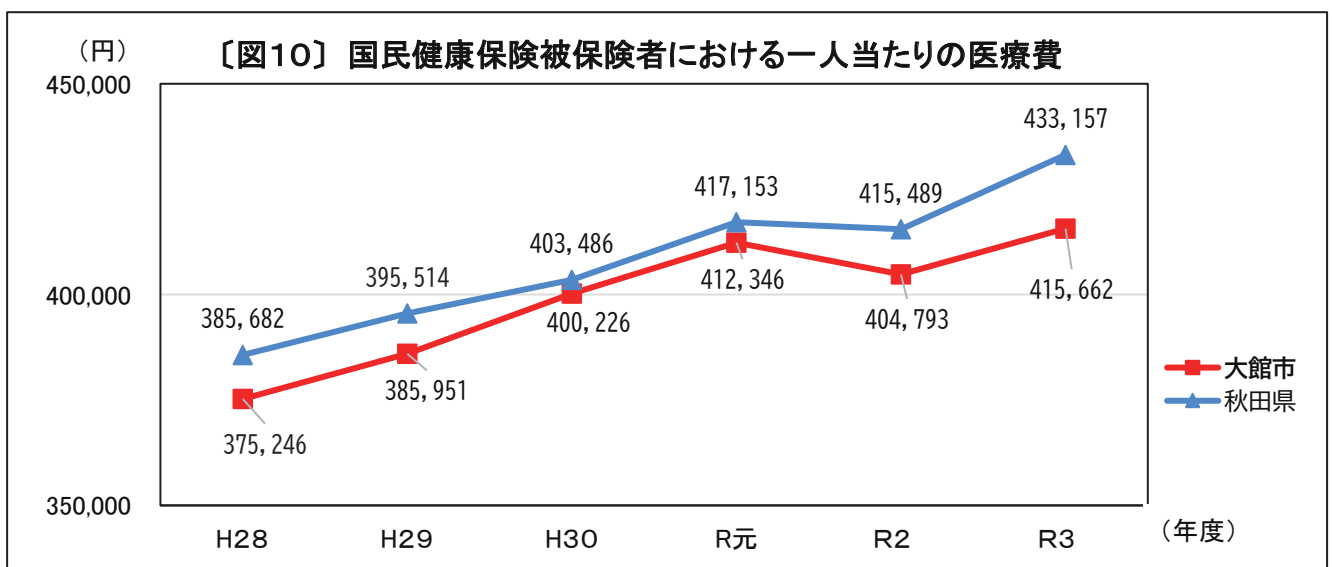
年	H28	H29	H30	R元	R2	R3
大館市	14	14	16	10	9	12
秋田県	240	242	199	200	172	177
全国	21,021	20,468	20,031	19,425	20,243	20,291

資料：人口動態統計、秋田県衛生統計年鑑

5. 医療費

(1) 国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費の推移

市の国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費は、緩やかに増加していますが、県平均を下回る状況です。

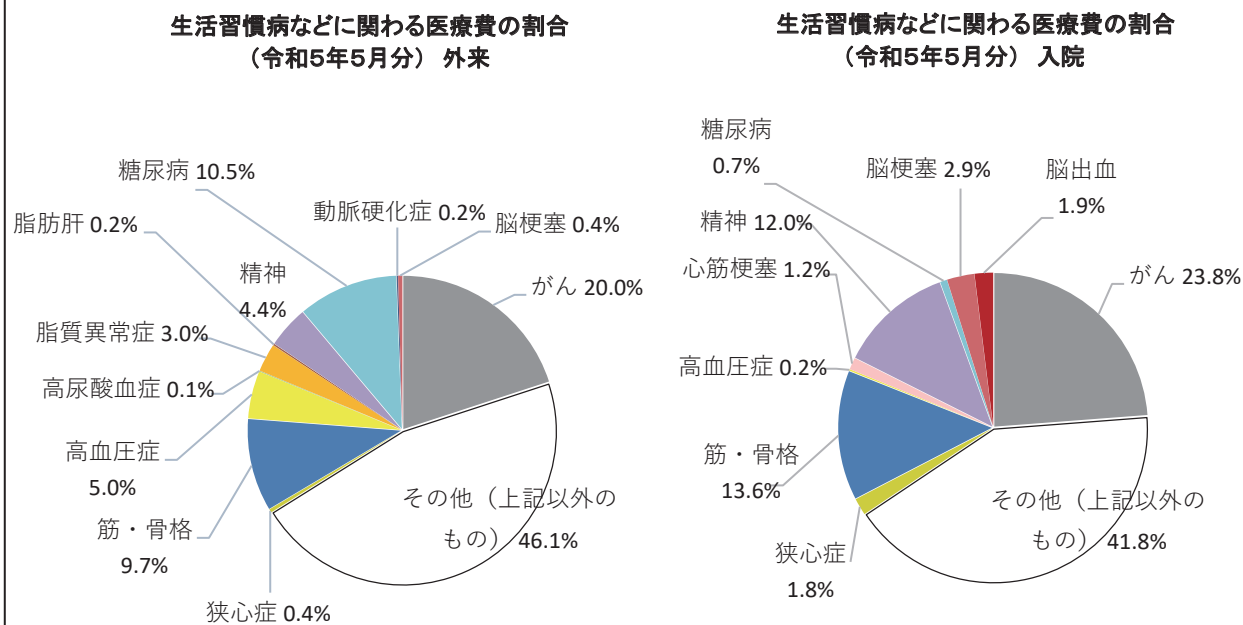


資料：大館市 令和4年度国保・高齢者医療 福祉医療の概要
秋田県 国民健康保険事業状況

(2) 国民健康保険の疾病分類別医療費

市の令和5年5月（医療費の統計調査の全国的基準月）の診療分における国民健康保険の疾病分類別医療費をみると、外来ではがん、糖尿病、筋・骨格の割合が多く、入院ではがん、筋・骨格、精神疾患の割合が高くなっています。

〔図11〕 疾病分類別医療費の割合（令和5年5月）



資料：秋田県国民健康保険団体連合会疾病統計システムから集計

<減塩の取組>

「推定1日食塩摂取量測定」を実施しています



食塩のとりすぎは、高血圧症など生活習慣病の要因の1つといわれています。減塩をすすめるためには、食塩をどれくらいとっているか知ることが大事です。

そこで、市では令和3年から推定1日食塩摂取量測定を始めました。

対象 大館市国民健康保険に加入している被保険者のうち特定健康診査を受診し、検査を希望したかた

方法 尿検査(尿中ナトリウム・尿中クレアチニン)を実施し、推定1日食塩摂取量を算出(随時尿)

【推定1日食塩摂取量測定の結果】

	令和3年度	令和4年度
検査人数(人)	2,908人	3,191人
平均値(g)	9.74g	9.71g
男性平均値(g)	10.00g	9.99g
女性平均値(g)	9.55g	9.51g

(日本人の食事摂取基準 2020)

●成人1日あたりの食塩摂取の目標量

男 7.5g未満

女 6.5g未満

高血圧のかた 6.0g未満

●秋田県の目標値 7.0g未満

第3期健康秋田21計画より

男女ともに、食塩摂取の目標量を上回っています



資料 特定健康診査受診者の検査結果より